

令和5年度九州における地域ブランド構築・定着支援事業 成果報告会

- 本事業では、九州地域の産業活性化や地域資源の一層の活用を促進することを目的として、自治体、団体等における地域ブランド化の取組を支援するため、**専門家を派遣し地域の特徴を活かした新製品開発、地域の象徴としての地域ブランドの創出、整理等を実施**。自治体や支援団体を対象にオンライン配信で成果報告会を開催し、**約50名の参加**があった。
- 前半の基調講演では地域ブランド化の取組に精通する**専門家の杉本氏と古家氏**から過去の支援事例等を通して、**地域ブランド化を成功に導くカギや、ブランド化を進める上で必要となる知財活用**などについて紹介。また、特許庁地域ブランド推進室から**地域団体商標制度と活用事例**について紹介。
- 後半では、今年度支援を行った熊本県合志市、福岡県うきは市の成果報告が行われ、続けて「**先輩地域に学ぶ地域ブランド化のヒント**」をテーマに**専門家を交えたパネルディスカッション**が行われた。

【概要】 令和6年2月16日（金）14:00～16:30 オンライン配信

1. 開会
2. 講演①「自治体と進める地域ブランド構築」 株式会社暮人 代表取締役 杉本淳氏
3. 講演②「地域ブランド化と知財活用」 株式会社フィールドワークス 代表取締役 古家達也氏
4. 「知的財産関連の支援制度の紹介」 特許庁商標課地域ブランド推進室 鈴木優佳氏
5. 成果報告 熊本県合志市・福岡県うきは市
6. パネルディスカッション「先輩地域に学ぶ地域ブランド化のヒント」

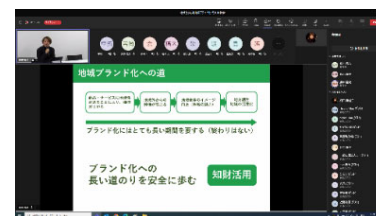
(コーディネーター) 株式会社暮人 代表取締役 杉本 淳氏

(パネリスト) 合志市役所商工振興課、うきは市役所うきはブランド推進課、

株式会社フィールドワークス代表取締役 古家 達也氏

- 7.閉会（閉会后、地域ブランド化相談会※任意・事前予約）**

主催：九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会



配信の様子



各自治体の代表による成果報告

【熊本県合志市】

【支援内容】

- ・他地域の事例紹介、合志市の背景を整理しながらブランドコンセプトと商品開発の方向性について協議。
- ・市内事業者を対象に「知財から考えるブランド化、知財制度」をテーマに知財勉強会を実施。
- ・プロジェクトの具体的な取組みに向けブランド戦略の検討、長期ロードマップを作成

【プロジェクトの創出】

「合志」という特徴的な地名から、「志が合う」を地域ブランドのコンセプトに位置づけ、合志市の地域ブランド＝人と人のつながりを活かし、合志内での出会いの掛け算により新たなモノやコトをプロデュースする取組み

●プロジェクトの目的●

地域ブランドの取組みを通して、これまで以上に合志市に関わる人、出入りする人を増やし、合志市をより知ってもらうほか、観光や飲食店等の事業者、農水産物生産者等の多岐にわたる事業者への経済的な波及効果をうみ、市内産業が活性化されている状態を目指す。

●ブランド戦略●

（コラボ事業の創出）地域おこし協力隊を中心として将来的に3,333個の取組・商品づくりを行うことを目標にコラボ事業を展開。
（集まる場づくり）合志市内で年1回サミットを開催（第1回は令和6年11月を予定）。実行委員会を立ち上げて運営を行う。
（プロデューサーの発掘）プロジェクトに共感してくれる人を発掘し、プロデューサーとして関わる体制を作る。



支援の様子

【福岡県うきは市】

【支援内容】

- ・「自治体が取組む地域ブランド化」をテーマに勉強会を実施、うきは市保有の登録商標を整理、活用について協議
- ・これまでの市の取組み、うきはブランドの棚卸、整理を行い、商品開発の方向性の検討
- ・新商品のネーミングについて知財勉強会を行い、商品開発に向けた具体的な内容を協議

【自治体のブランド創出と知財管理の取組】

- ・勉強会を踏まえて、うきは市が行ってきた事業展開の共有、それに係る登録商標の活用について意見交換し、組織内で認識をすり合わせ。
- ・今後は、所属を超えた職員間での意見交換、知財管理責任者を明確化し、「うきはブランド」の担い手である事業者との連携強化を目指す。

【お土産品開発】

- ・新たな商品開発・商標登録に向けて、専門家のアドバイスを受けながら、商品価値やコンセプト、目的を明確化
 - ・大衆向け・年配の顧客・若年の新規顧客向けの3パターンの商品開発ロードマップを作成
- ①小分けができる商品 ②「うきはに行ってきたお土産」 ③うきは産の果物を使用した商品



支援の様子